

# 令和 6 年度福島町議会議員の評価

評価期間：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

評価の分類：○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

| 所 属 委 員 会 ・ 役 職 名                    | 在職年数 | 氏 名     | 年 齢 |
|--------------------------------------|------|---------|-----|
| 議 長（渡島西部広域事務組合議会議員）<br>総務教育・経済福祉常任委員 | 44   | 溝 部 幸 基 | 77  |

| 評 価 項 目      | 具 体 的 な 項 目                               | 評 価 |    |
|--------------|-------------------------------------------|-----|----|
|              |                                           | 取組  | 成果 |
| 1. 行政分野の取り組み | 「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（各計画に関する提言・検証）        | △   | ▲  |
|              | 自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査                    | ▲   | ▲  |
|              | 行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）         | ▲   | ▲  |
|              | 防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）         | △   | ▲  |
|              | 過疎自治体における政策推進の在り方                         | △   | ▲  |
|              | 浄化槽（下水道整備）の普及推進                           | ▲   | ▲  |
|              | 第 2 青函トンネル構想実現に向けた活動推進                    | ○   | △  |
|              | ハラスメント条例の制定に向けた調査研究                       | △   | ▲  |
| 2. 財政分野の取り組み | 財政健全化への取組（予算・決算審査・行政評価充実：基金の有効活用）         | △   | △  |
|              | 退職手当制度の抜本的改善                              | ▲   | ▲  |
|              | 各団体等への補助金、事業助成金等の在り方                      | ▲   | ▲  |
| 3. 経済分野の取り組み | 新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設               | ▲   | ▲  |
|              | 異業種連携による「福島ブランド」の開発（ブランド化システムの再検討）        | ▲   | ▲  |
|              | 地場産品の 6 次産業化に関する調査研修                      | ▲   | ▲  |
|              | 産業団体と課題に取組む産業公社仕組みづくりの調査研修                | ▲   | ▲  |
|              | 地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修           | △   | ▲  |
| 4. 福祉分野の取り組み | 過疎自治体における超高齢化対策に関する調査                     | ▲   | ▲  |
|              | 「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減                | △   | ▲  |
|              | 公立診療所の在り方に関する調査研修                         | ▲   | ▲  |
|              | 在宅介護支援体制の整備（社会福祉協議会の役割）                   | ○   | ▲  |
|              | 労働者協同組合に関する調査研究（活動事例、行政連携等）               | ○   | ▲  |
|              | 家庭ごみ等減量対策の具現化に向けた調査研修                     | ○   | ▲  |
| 5. 教育分野の取り組み | 小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修              | ▲   | ▲  |
|              | 過疎自治体における高等教育推進に関する調査                     | △   | △  |
|              | 「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）               | △   | ▲  |
|              | 「自分（達）すべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進        | △   | ▲  |
|              | 食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）         | △   | △  |
| 6. その他の取り組み  | わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本条例の周知）           | ○   | △  |
|              | 活発な討議（討論）ができる議会の実現                        | ○   | △  |
|              | 政策的な提案のできる議会の実現                           | △   | △  |
|              | 幅広い情報収集、積極的な研修参加                          | ○   | ○  |
|              | 視察の積極的な受け入れ（共和町議会・宮崎県串間市議会・長崎県小値賀町・栗山町議会） | ○   | ○  |
|              | ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）                    | △   | △  |
|              | 各種行事への積極的な参加                              | ○   | ○  |

|            |                  |             |
|------------|------------------|-------------|
| 議員個人としての活動 | □報告会等の実施 2 回     | □議員だよりの発行 回 |
|            | □個人ホームページの開設 回・無 | □その他        |